

平成31年度学校教育目標及び重点目標
(全日制)

1 学校教育目標

○豊かな教養の持ち主であれ

自分の意志で、意欲をもって主体的・協同的に学ぶ生徒

○清純な心の持ち主であれ

人とのかかわりの中で、自他を尊重する生徒

○健康美の持ち主であれ

体力を向上させ健康増進に努める生徒

2 本年度の重点目標

想像力を伸ばし、優しさと強い意志を胸に自己実現に努める生徒を育む

～ **女子**きを**力**に、伸びゆく生徒 ～

社会生活を送っていくためには、思いやり、感謝、感動する心を育てるとともに、誠実で謙虚に生きる態度を育てることが大切です。また、夢や目標を持ち困難な状況にも強い意志で粘り強く挑戦する態度を育むことも重要です。そのために、想像する力を伸ばしていきましょう。想像力は、他の者の思いを自分のこととして考えられる、共感できる、将来の自分をイメージしながら夢や目標にチャレンジしていく原動力になります。あらゆる場面で、豊かな心を育んでいきましょう。

3 重点項目

○確かな学び

「学ぶ意欲の向上と主体的に取り組む力の伸長」

学習の意義を粘り強く理解させながら、「学ぶことが楽しい」、「学んだことが日常生活に役立つ」、「将来自分が就きたい仕事のために学ぶ必要がある」と実感させることが大切だと考えます。教師は、豊かな人間性を高める研鑽を積み上げながら、見て・聴いて・考え・訊ける授業実践に努め、生徒が主体的に取り組むことのできるわかる授業、学ぶ楽しさを実感できる授業の展開に取り組ましよう。

今年度は、「ナナゼロ補習」を位置づけ、本校の強みでもある全日制・定時制併置の教育資源活用を進めていきましょう。

また、「地域から応援される学校」として、学習の中に地元地域の資源を利用して、地域を学ぶ「木更津学」のような授業を意識していただきたいと思います。生徒たちは、将来、故郷であるこの地域にみんなが残るわけではありません。自分を育んでくれた故郷に愛着と誇りを持ち、常にこの地域とつながっている若者に育てたいと思います。そこから、生徒のコミュニケーション能力の向上も期待できると考えます。

○生徒指導等

「自らの向上を意識し、想像力豊かな品位ある人材の育成」

生徒の自尊意識を高める生徒指導を実現していきたいと考えます。それには、生徒が自分自身としっかりと向き合える、自分自身を知るために考える、そんな生徒指導を心がけていただけたらと思います。学校行事や部活動等の中で、人に認められ人の役に立つ喜び(自己有用感)、自ら考え行動し自ら創り上げる喜び(自己決定)と仲間と力を合わせてやり遂げる喜び(共感的協同)を推進していきましょう。また、積極的に地元地域と交流し、その中で体験を重ね、「自分とは何者であるか」を見つけさせる活動をすすめてほしいと考えます。

○校務分掌・その他

「大学や地域との連携を核とした学びの場の活用」

高大連携については、清和大学、清和大学短期大学部、千葉商科大学人間社会学部に加えて、昨年度から、城西国際大学観光学部とも教育提携を結び、大学での授業体験やイベントでの協力を実施しています。そのほか、地元地域のイベントへの参加や、小中学校との連携などにより、学びの場を拡大してきています。その活用をいっそう図り、生徒の学びをより充実させていきましょう。

○調整・連携

「命の大切さを考える防災教育公開事業拠点校としての防災教育活動推進」

109年の歴史を持つ地域の伝統校として、地元地域との交流を深め、地域における存在感の向上を目指していきたいと考えます。様々な地域行事への参加や、本校の授業や部活動などを通じて、地域にアピールしていきましょう。

平成31年度、本校は千葉県の「命の大切さを考える防災教育公開事業拠点校」に指定されました。地元地域の防災活動にも積極的に参加する学校でありたいと考えます。

加えて、安全安心な学校づくりを、さらに推進していきましょう。

また、創立110周年記念事業に向けて、同窓会との連携を進めていく年度となります。

○教師の姿勢

常に学校改善を意識し、「認め合い、助け合い、高めあう」活力のある教師集団

- (1) 生徒一人ひとりを大切に、その長所や可能性を伸ばす教師
- (2) 専門職としての自覚を持ち、今日的な課題解決に向けて互いに研鑽に努める教師
- (3) 教育目標実現のため、組織的、計画的に課題解決に向けて取り組む教師
- (4) 危機管理意識を高く持ち、不祥事根絶に取り組む教師
- (5) 学校における働き方改革を理解し、勤務時間・健康管理を意識した教師